

## 安全データシート

## 硝酸ピスマス(III)

改訂日: 2024-01-29 版番号: 1

## 1. 化学品及び会社情報

## 製品識別子

製品名	: 硝酸ピスマス(III)
CB番号	: CB8362207
CAS	: 10361-44-1
同義語	: 硝酸ピスマス(III)

## 物質または混合物の関連する特定された用途、および推奨されない用途

関連する特定用途	: 1940年代のペニシリン発見の前に、梅毒の治療に使用されていた。
推奨されない用途	: なし

## 会社ID

会社名	: Chemicalbook
住所	: 北京市海淀区上地十街匯煌国際1号棟
電話	: 400-158-6606

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

## 分類実施日

H22.3.16、政府向けGHS分類ガイダンス(H21.3版)を使用

## 物理化学的危険性

火薬類	分類できない
引火性・可燃性ガス	分類対象外
引火性エアゾール	分類対象外
酸化性ガス類	分類対象外
高圧ガス	分類対象外
引火性液体	分類対象外
可燃性固体	分類できない
自己反応性化学品	分類できない
自然発火性液体	分類対象外
自然発火性固体	分類できない
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性物質	区分外
酸化性液体	分類対象外

酸化性固体 分類できない

有機過氧化物 分類対象外

金属腐食性物質 分類できない

#### 健康に対する有害性

急性毒性(経口) 分類できない

急性毒性(経皮) 分類できない

急性毒性(吸入:ガス) 分類対象外

急性毒性(吸入:蒸気) 分類できない

急性毒性(吸入:粉じん) 分類できない

急性毒性(吸入:ミスト) 分類対象外

皮膚腐食性・刺激性 分類できない

眼に対する重篤な損傷性・刺激性 分類できない

呼吸器感作性 分類できない

皮膚感作性 分類できない

生殖細胞変異原性 分類できない

発がん性 分類できない

生殖毒性 分類できない

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分1(神経系、腎臓、骨関節)

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1(神経系、骨関節、腎臓)

吸引性呼吸器有害性 分類できない

#### 環境に対する有害性

水生環境急性有害性 未分類

水生環境慢性有害性 未分類

#### ラベル要素

##### 絵表示又はシンボル

GHS03	GHS07

#### 注意喚起語

危険

#### 危険有害性情報

神経系、腎臓、骨関節の障害

長期にわたるまたは反復ばく露による神経系、骨関節、腎臓の障害

#### 注意書き

##### 【安全対策】

粉じん、ヒューム、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

取扱後は手をよく洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

##### 【応急措置】

ばく露した場合:医師に連絡すること。

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

##### 【保管】

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

施錠して保管すること。

#### 【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

---

### 3. 組成及び成分情報

化学名又は一般名	: 硝酸ビスマス(III)
別名	: 三硝酸ビスマス、(Bismuth trinitrate)、三硝酸ビスマス(III)、(Trinitric acid bismuth (III) salt)、ビスマス トリニトラート
分子式(分子量)	: BiN3O9(394.992)
CAS番号	: 10361-44-1
官報公示整理番号(化審法・安衛法)	: (1)-97
分類に寄与する不純物及び安定化添加	: データなし
純度又は濃度範囲	: 100%

---

### 4. 応急措置

#### 吸入した場合

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

#### 皮膚に付着した場合

水と石鹼で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

#### 眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。

眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

#### 飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

#### 予想される急性症状及び遅発性症状

吸入：データなし

皮膚：データなし

眼：データなし

経口摂取：データなし

#### 最も重要な兆候及び症状

データなし

#### 応急措置をする者の保護

データなし

## 医師に対する特別注意事項

データなし

---

## 5. 火災時の措置

### 消火剤

水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤(水素化炭酸塩を除く)、乾燥砂類

### 使ってはならない消火剤

炭酸ガス、水素化炭酸塩の粉末消火剤

### 特有の危険有害性

火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。

加熱により容器が爆発するおそれがある。

火災に巻き込まれると、燃焼を加速する。

加熱されたり、火災に巻き込まれると、爆発的に分解するおそれがある。

### 特有の消火方法

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

水が十分に供給されないときは蒸気濃度を低下させるだけにする。

容器が熱に晒されているときは、移さない。

### 消火を行う者の保護

適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

---

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具および緊急措置

作業者は適切な保護具(『8.ばく露防止措置及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。

関係者以外の立入りを禁止する。

密閉された場所に立入る前に換気する。

### 環境に対する注意事項

環境中に放出してはならない。

### 回収・中和

漏洩物を掃き集めて密閉できる空容器に回収し、後で廃棄処理する。

### 封じ込め及び浄化方法・機材

水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。

## 二次災害の防止策

プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

#### 技術的対策

『8.ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

#### 局所排気・全体換気

『8.ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。

#### 安全取扱い注意事項

粉じん、ヒューム、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

取扱後は手をよく洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

#### 接触回避

『10.安定性及び反応性』を参照。

### 保管

#### 技術的対策

消防法の規定に従う。

#### 混触危険物質

『10.安定性及び反応性』を参照。

#### 保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

施錠して保管すること。

#### 容器包装材料

データなし

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 管理濃度

未設定(2009年度)

### 許容濃度 (ばく露限界値、生物学的ばく露指標)

#### 日本産衛学会

未設定(2009年度)

#### ACGIH

未設定(2009年度)

### 設備対策

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。

## 保護具

### 呼吸器の保護具

適切な呼吸器保護具を着用すること。

### 手の保護具

適切な保護手袋を着用すること。

### 眼の保護具

適切な眼の保護具を着用すること。

### 皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣を着用すること。

## 衛生対策

取扱い後はよく手を洗うこと。

---

## 9. 物理的及び化学的性質

### Information on basic physicochemical properties

形状 固体

色 無色

臭い 硝酸臭

pH データなし

30 °C : WebKis-Plus (2009) /データなし

80 °C : WebKis-Plus (2009)

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし、(2.83 g/cm<sup>3</sup> : Merck (14th, 2006))

硝酸を含んだ水に可溶: Merck (14th, 2006)

グリセロール、酢酸を含んだ希酸、アセトンに可溶。実質的にアルコール、酢酸エチルに可溶:

Merck (14th, 2006)

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

## 融点・凝固点

30 °C : WebKis-Plus (2009) /データなし

## 沸点、初留点及び沸騰範囲

80 °C : WebKis-Plus (2009)

## 引火点

データなし

## 自然発火温度

データなし

## 燃焼性(固体、ガス)

データなし

## 爆発範囲

データなし

## 蒸気圧

データなし

## 蒸気密度

データなし

## 蒸発速度(酢酸ブチル=1)

データなし

## 比重(密度)

データなし、(2.83 g/cm<sup>3</sup> : Merck (14th, 2006))

## 溶解度

硝酸を含んだ水に可溶: Merck (14th, 2006)

グリセロール、酢酸を含んだ希酸、アセトンに可溶。実質的にアルコール、酢酸エチルに可溶 : Merck (14th, 2006)

## オクタノール・水分配係数

データなし

## 分解温度

データなし

## 粘度

データなし

## 粉じん爆発下限濃度

データなし

## 最小発火エネルギー

データなし

### 体積抵抗率(導電率)

データなし

---

## 10. 安定性及び反応性

### 安定性

法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる

### 危険有害反応可能性

加熱すると分解してヒスマスと窒素酸化物の毒性ガスを発する。

### 避けるべき条件

加熱

### 混触危険物質

データなし

### 危険有害な分解生成物

ヒスマスと窒素酸化物の毒性ガス

---

## 11. 有害性情報

### 急性毒性

#### 経口

データ不足で分類できない。なお、ラットLD50値 4 g/kg (RTECS (2007))のデータがある。

[有害性については他のヒスマス化合物についても参照のこと]

#### 経皮

データなし。

#### 吸入

吸入(ガス): GHS定義における固体である。

吸入(蒸気): データなし。

吸入(粉じん、ミスト): データなし。

### 皮膚腐食性・刺激性

データなし。

### 眼に対する重篤な損傷・刺激性

データなし。

### 呼吸器感受性又は皮膚感受性



呼吸器感作性:データなし。

皮膚感作性:データなし。

### 生殖細胞変異原性

データなし。

### 発がん性

データなし。

### 生殖毒性

データなし。

---

## 12. 環境影響情報

### 水生環境急性有害性

未分類

### 水生環境慢性有害性

未分類

---

## 13. 廃棄上の注意

### 残余廃棄物

廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

### 汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

---

## 14. 輸送上の注意

### 国際規制

#### 海上規制情報

IMOの規定に従う。

#### UN No.

1477

#### Proper Shipping Name.

NITRATES, INORGANIC, N.O.S.

#### Class

5.1

**Packing Group**

II

**Marine Pollutant**

Not Applicable

## 航空規制情報

ICAO・IATAの規定に従う。

**UN No.**

1477

**Proper Shipping Name.**

Nitrate, inorganic, n.o.s.

**Class**

5.1

**Packing Group**

II

## 国内規制

## 陸上規制情報

消防法の規定に従う。

## 海上規制情報

船舶安全法の規定に従う。

## 国連番号

1477

## 品名

無機硝酸塩類(固体)

## クラス

5.1

## 容器等級

II

## 海洋汚染物質

非該当

## 航空規制情報

航空法の規定に従う。

## 国連番号

1477

## 品名

無機硝酸塩類(固体)

## クラス

5.1

## 等級

2

## 特別安全対策

移送時にイエローカードの保持が必要。

食品や飼料と一緒に輸送してはならない。

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。  
重量物を上積みしない。

---

## 15. 適用法令

### 水質汚濁防止法

有害物質(法第2条、令第2条、排水基準を定める省令第1条)

### 消防法

第1類酸化性固体、硝酸塩類(法第2条第7項危険物別表第1・第1類)

### 船舶安全法

酸化性物質類・酸化性物質(危規則第3条危険物告示別表第1)

### 航空法

酸化性物質類・酸化性物質(施行規則第194条危険物告示別表第1)

---

## 16. その他の情報

### 略語と頭字語

ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定

CAS: ケミカルアブストラクトサービス

EC50: 有効濃度 50%

IATA: 国際航空運送協会

IMDG: 国際海上危険物

LC50: 致死濃度 50%

LD50: 致死量 50%

RID: 鉄道による危険物の国際輸送に関する規則

STEL: 短期暴露限度

TWA: 時間加重平均

### 参考文献

【1】労働安全衛生法 ウェブサイト <https://www.mhlw.go.jp>

【2】化学物質審査規制法(化審法)<https://www.env.go.jp>

【3】化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) <https://www.chemicoco.env.go.jp>

【4】NITE化学物質総合情報提供システム (NITE-CHRIP)<https://www.nite.go.jp/>

【5】カメオケミカルズ公式サイト <http://cameochemicals.noaa.gov/search/simple>

【6】ChemIDplus、ウェブサイト <http://chem.sis.nlm.nih.gov/chemidplus/chemidlite.jsp>

【7】ECHA - 欧州化学物質庁、ウェブサイト <https://echa.europa.eu/>

【8】eChemPortal - OECD 化学物質情報グローバルポータル、ウェブサイト <http://www.echemportal.org/echemportal/index?>

<http://www.echemportal.org/echemportal/index?>  
pageID=0&request\_locale=en

【9】ERG - 米国運輸省による緊急対応ガイドブック、ウェブサイト <http://www.phmsa.dot.gov/hazmat/library/erg>

【10】有害物質に関するドイツ GESTIS データベース、ウェブサイト <http://www.dguv.de/ifa/gestis/gestis-stoffdatenbank/index-2.jsp>

【11】 HSDB - 有害物質データベース、ウェブサイト <https://toxnet.nlm.nih.gov/newtoxnet/hsdb.htm>

【12】 IARC - 国際がん研究機関、ウェブサイト <http://www.iarc.fr/>

【13】 IPCS - The International Chemical Safety Cards (ICSC)、ウェブサイト <http://www.ilo.org/dyn/icsc/showcard.home>

【14】 Sigma-Aldrich、ウェブサイト <https://www.sigmaaldrich.com/>

**免責事項:**

本MSDS中の情報は指定された製品にのみ適用され、特に規定がない限り、本製品とその他の物質の混合物には適用されません。本MSDSは、製品使用者の適切な専門的なトレーニングを受けた者にのみ製品安全情報を提供します。本MSDSの使用者は、本MSDSの適用性について独自に判断しなければならない。本MSDSの著者は、本MSDSの使用によるいかなる傷害にも責任を負わない。